

中2 英語

【大項目】	【小項目】	【小単元名】
1.過去の表現	1.be動詞の過去形	平叙文 / 過去を表す副詞 否定文・疑問文
	2.過去進行形	平叙文 否定文・疑問文
	3.一般動詞の過去形①	平叙文 / 過去を表す副詞 否定文・疑問文
	4.一般動詞の過去形②	規則変化動詞の過去形[~(e)d]と発音 不規則変化動詞の過去形と発音
2.未来の表現	1.willを使った表現	平叙文 / 未来を表す副詞 否定文・疑問文
	2.be going to ~を使った表現	平叙文・否定文・疑問文 [will]との書き換え
3.助動詞	1.can, must, may	[can・may・must]① [can・may・must]②
	2.be able to / have to	[be able to ~]/[can]との関係 [have to ~]/[must]との関係
	3.その他の表現	[will be able to ~]など [Will you ~?/Shall I ~?/Shall we ~?]
4.注意すべき表現 I	1.名詞①	主語・補語・目的語 名詞の分類(数えられる名詞・数えられない名詞)
	2.名詞②	数えられる名詞 数えられない名詞
	3.冠詞	[a(an)・無冠・the]の使い分け
	4.代名詞	人称代名詞 指示代名詞 / 再帰代名詞
	5.不定代名詞	[one/other/another] [both/either/neither][all/each/some]
	6.形容詞	補語・修飾語 [many]と[much]/[a little]と[a few]
	7.副詞	副詞が修飾するもの / 頻度を表す副詞 [too]と[either]等
	8.名詞構文	「副詞⇄形容詞」の書き換え
5. There is ~ の文	1.基本の文	平叙文 疑問文・否定文/過去形
	2.「特定のもの」と「不特定のもの」	言い方のちがいを区別する
6.不定詞	1.名詞的用法	不定詞とは? 主語・補語になる場合 目的語になる場合
	2.形容詞的用法	名詞を修飾する不定詞① 名詞を修飾する不定詞②
	3.副詞的用法	目的(~するために) 感情の原因(~したので)
	4.判別・識別の方法	3用法の見分け方
	5.動名詞	主語・目的語・補語になる場合 動詞の目的語となる場合 前置詞の後ろにある動名詞
7.接続詞	1.接続詞の分類	等位接続詞・従位接続詞
	2.等位接続詞	[and/but/or/so]
	3.副詞節をつくる接続詞	副詞節の分類と働き[when/before/after]など 条件・理由を表す接続詞[if/because/though]

【大項目】	【小項目】	【小単元名】
		接続詞[when/if]を使った文中での未来の表現
	4.that節	[that節]の考え方 [that節]の具体的用法
	5.接続詞の応用	接続詞の書きかえ
8.文型	1.第1、第2文型	文型の見分け方/第1文型[S(主語)+V(動詞)] 第2文型[S(主語)+V(動詞)+C(補語)]
	2.第3、第4文型	第3文型[S(主語)+V(動詞)+O(目的語)] / 第2と第3文型の識別 第4文型[S(主語)+V(動詞)+O(目的語)+O(目的語)]とその書きかえ
	3.第5文型	第5文型[S(主語)+V(動詞)+O(目的語)+C(補語)]/第4と第5文型の識別
9.比較の文	1.比較文とは?	比較(基本編)
	2.比較級・最上級の基本	規則変化① 規則変化② / 不規則変化
	3.原級比較	[as～as]
	4.比較級	比較級の文の基本編 [like～better]/疑問詞のある比較級の疑問文
	5.最上級	最上級の文の基本編 [like～best]/疑問詞のある最上級の疑問文
	6.重要表現と表現の書換え	比較の重要表現 「原級⇔比較級」「比較級⇔最上級」の書き換え
10.現在完了	1.現在完了の基本	基本編/平叙文・否定文・疑問文
	2.継続と経験	「ずっと～している」 「～したことがある」
	3.完了と結果	「～し終わった」 「～してしまった」
	4.注意すべき用法	現在完了とはどんな表現なのか [have been to/have gone to/have been in]
11.受動態の文	1.受身の文	平叙文/過去分詞 否定文・疑問文・過去形
	2.受動態の書き換え	「能動態⇔受動態」
	3.疑問詞のある受動態	疑問詞のある受動態の文
	4.注意すべき受動態	[by ～]の省略
12.注意すべき表現Ⅱ	1.命令文	「条件」を表す命令文(and, orの使い分け) [否定の命令文/Let's ～./Please ～.]の書き換え
	2.感嘆文	[How ～!] [What ～!] [How ～!]⇔[What ～!]
	3.前置詞①	前置詞の働きと種類 [at/on/in] [for]と[during]/[till]と[by]
	4.前置詞②	[at/in/on]など 方向を示す前置詞 「時」「場所」以外を表す前置詞のまとめ 前置詞の熟語表現 否定疑問文と付加疑問文 注意すべき疑問詞
	6.特殊な否定文	さまざまな否定